



「腹」の漢字はなぜ「月」へんなの

肉でふくれたところから

月へんは「肉づき」というように、肉を表しています。腹は、中に内臓や食べた物をつみこみ、肉でふくれたところを意味しています。腹というのは、ものの前面や中ほどにあるところ、とてもふくれたところですよ。人間の場合は、肉でおおわれた、ふくれた腹、母親の腹を表します。

このような理由から、腹の字には、月へん（肉づき）が用いられているのです。

腹という字が使われる場合

腹は、人間の体の一部としてだけでなく、いろいろな場合に使われます。その例をあげておきましょう。

・「腹心」・・・自分の腹とも心ともたのむ、絶対に信頼のおける人、親しい間がらの人。
頼れる人。

・「腹蔵」・・・自分の思ったこと、考えたことを、だれにも言わないで腹の中・心の中にしまっておくこと。

・「腹芸」・・・自分の思いや考えを、ことばや行動には出さないで、心の中におさめて、物事をやりとげること。

・「腹背」・・・腹と背中、前と後ろ。とても親しい間がら。（監修・保岡 孝之）

